

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより



NEWS

★地球を旅するモード

パリ、ミラノ、ロンドン
ブルユッセル等、今をとき



めく世界のファッション都
市。その得意分野をフュー
チャーした「ベニヤ・コス
モポリタン・コレクション
」がこの秋神戸に上陸。
店頭販売に先がけて本都会
場にて、9月1日～3日展
示会が行われた。

遊び心のアニマルプリン
トや、暖かくて可愛いフ
エイクファーなど、ベニヤ
ならではのオリジナルが目
を引く。今年の冬のアイテ
ムにあなたは、ぜひ一度た
めてみては？

NEWS

★サノヘが新しくなった!

サノヘがイタリアブラン
ドクリツイア専門店として
リフレッシュオープン。幅
広い年齢層に対応できるよ
う、クリツイア全ブランド



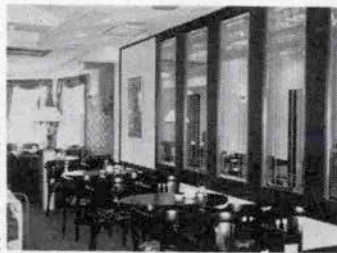
が集合。クリツイア、クリ
ツイアボワ、ボワバイクリ
ツイア、クリツイアジーン
ズとファンならば必ずのぞ
いてほしいショップ。今年
は短いジャケットとパンツ
が当店のおすすめです。

■問い合わせ/TEL3311-4770
7AM11:00~PM7:00水曜休

OPEN

●スターライトに輝く
ステラ三宮ビルのショッ
プをご紹介します。

★優雅に味わうカプチーノ
UCCからオープンした
神戸カプチーノ倶楽部は、



モノトーンな落ちついた雰
囲気。店名通り、本格的イ
タリアコーヒーをメインに
した「カプチーノ」が売り
物で、普通のコーヒーは一
切、置いてない。

カフェ・カプチーノ(500
円)、カプチーノ・ボルシ
ア(700円)の他、ホイップ
クリームに金箔が浮いた、
貴婦人のセレナーデ(1、
200円)は、「ぜひお試
し下さい」とのこと。

阪急三宮駅前という場所
柄、待ち合わせにも最適、
優雅に刻が過ぎてゆく。

■神戸市中央区加納町 4-15-11
ステラ三宮ビル3F TEL3311-1146
AM11:00~AM0:00
無休

★肩をはずすに、おしやれ
にしゃぶしゃぶを!

カスカードからオープン
したのはお洒落なスベー
スしゃぶしゃぶ倶楽部・ワ
イワイワイ。

高級イメージのあるしゃ
ぶしゃぶ料理は、つい構え
てしまうが、この「ワイワ
イワイ」は普段感覚で料
理を楽しむ。

特製自慢のゴマだれとボ
ン酢だれで食べるしゃぶし
ゃぶは、個人タイプの鍋
で、自分のペースに合わせ
て楽しめるようになってい
る。ランチタイムはAM11
~PM3まで、メニュー
は豚しゃぶ定食(680円)、
牛しゃぶ定食(980円)、牛
井ランチ(680円)、ディナー



メニューは、牛しゃぶコ
ース(1850円)、特選神戸
牛しゃぶコース(2600
円)、豚しゃぶコース(15
00円)と、どれをとって
も手頃な価格で嬉しい限
り。食欲の秋本番、おいし
いお肉をぜひどうぞ。

■神戸市中央区加納町 4-15-11
ステラ三宮ビル4F TEL3322-3972
AM11:00~AM0:00
無休



●女性の感性を大切に…

細田 宜 <モロゾフ・センター街ショップ店長>
昨年、センター街の店長を務める。「お客様に喜んでいただく為、期待どおりのサービスと品揃えにいつも気をくばっています。」従業員30名のうち、20名が女性、こちらも気をくばりますね? 「そうですね、女性特有の感性を生かすように心掛けてますけど。」と、あくまで、優しく、甘く、モロゾフ風にかかわる。オン・タイムがソフトな反面、オフはバイクに夢中と、ハードにせまる細田さん。

ART

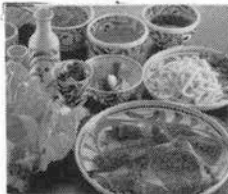
●19世紀のヨーロッパ
マン主義を顕賞する

陶丸善が仏革命200年を記念し、「ロマン派絵画とアール・ヌーヴ」のガラス展」を9月9日、11日までフィッシュダunsホールで開催した。



人間が持つ劇的な内面と幻想的精神の表現をテーマに19世紀のヨーロッパを中心に広まったロマン主義。その旗手ドラクロア、ルーベンス、ターナー、シャガールら巨匠の作品約100点を展示の他、世界を風靡したアール・ヌーヴのガラス工芸品50点が揃った。ドラクロアの「ファウスト」シリーズ、ルーベンス「古代ローマの遺跡の風景」など見逃せない名作が人気を博した。

PRESENT CORNER



●Yi Yi Yiより

しゃぶしゃぶコースを今、話題の夜型ビル、ステラ三宮にオープン。しゃぶしゃぶ倶楽部・Yi Yi Yi。自慢のゴマだれとポン酢で味わうしゃぶしゃぶの味は格別。気軽にワイワイと愉しもう、¥1,850の牛しゃぶコースをペア3組様にご招待。

●セリザワより
テレホンカードを



ブティックセリザワが昨年に引き続きお洒落なテレホンカードを作りました。本誌広告ページでいつもお洒落なファッションを、楽しませてくれるセリザワならではの。カードコレクションの一枚に加えてみては。10名様にセンター街店にて引き換え。

TOPICS

●本高砂屋から発行されているPR誌「味文庫」が9号を迎え、ますます好評。冬場にかけて「蒸す」をテーマに特集を組んでいる。中でも庄野真代さん(アーティスト)と森枝卓さん(ジャーナリスト)による対談では、アジア各国の珍しい蒸し料理にふれて興味深い内容となっている。
●ホテルゴールブリックスの15Fのファッションライブラリィハサロ・デル・リプロヴィ内に「日本ワールド協会関西支部局」が開設され、第1回世紀末セミナー「サロメ考」の開催が行なわれる。
日時・10月13日(金) 18時45分~20時15分 場所・ホテル

ゴールブリックス15Fアングラシアの間 講師・堀江珠喜氏(園田学園女子大学助教授・日本ワールド協会副会長) 参加費・1,000円
●創立35周年を迎える田崎真珠からビッグプレゼントクイズ「田崎真珠は今年創立〇〇周年」に、〇にあてはまる数字と、〒番号、住所、氏名、年令、電話番号、性別、職業を官製ハガキに記入の上、〒650神戸市中央区港島中町6-13 12 田崎真珠企画広報部に送れば抽選の上、クイーンエリザベスによる台北・香港クルージングを2組、同じく1泊2日のクルージングを2組、招待される。
締切りは10月31日。この機会にドシドシ応募を!

●応募方法●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町11-1大神ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百店プレゼント係までご応募下さい。10月末日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を送る。葉書を持って神戸っ子までプレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

猫じゃらし

佐藤晴美

私は茶トラのオス
この辺一帯のボス

名前は――

ちやつとさん

ちやとらん

ちやとら
オース

ニラッ
ビラッ

何と呼ぼうと
別に
かまわんがね

セニタク
み

あッ

私の
彼女だ
男としては
ゆずら
なくては
ならない

ギニッ

彼女も
私の
彼女だ

ギッ

ちやとら めす

ぎとら かーさん

KOBE MODERN CULTURE

音楽



★山下トリオ、

ガーシユウィンを弾く

10月10日(金)18時 神戸ポートアイランド・ジ・ベックホール 4、5000円(消費税込)

様々なジャンルのミニミュージシャンとの異種格闘技を



続けてき
洋輔、最
山下も意欲を
燃やして

いるレコーディングメンバーのセシル・マクビー(b)とフェローン・アクラフ(br)とのライブセッションを行なう。

今回は、アメリカの生んだ最大の作曲家G・ガーシユウインのスタンダードナンバーを演奏しているアルバム「プレイズ・ガーシユウイン」の発売を記念してのツアーの為、山下らしさを求めるファンは勿論、ジャズビギナーも待ち焦がれる熱いセッションが期待できる。この強力なユニットは90年代の山下トリオを予感させる興奮の注目株。

★極めて贅沢な

ひとときを：

10月11日(水)19時 神戸文化ホール

ル中ホール S席10、3000円
A席8、2400円(消費税込)



そのうち
初回のクラシックスベ
シャル特

別公演は、世界で初めて実現する「ストラディヴァリ4本によるブランドイス弦楽四重奏」。

室内楽の最高峰・ブランドイス四重奏団が、名器ストラディヴァリを弾き、歴史的感動を呼び起こす。

名手が、名器で、名曲を奏でる記念すべきコンサートをお見逃しなく。

★のチケットをペア2組様にプレゼント。希望者は葉書に住所、氏名を明記し、神戸市モダンカルチャー・センターに送る。

★マントヴァーニ

オーケストラ

10月28日(土)18時30分 神戸国際会館大ホール S席6、5000円
A席5、000円 B席4、000円(消費税込)



2年ぶ
り4回目
のマント
ヴァーニ
・オーケ
ストラ日
本公演は指揮者にサミュエル・フリカーノを迎えて、

紡ぐように美しく、秋の夕べに響きわたる。厚味のあ

るストリングスが叙情的なメロディー・ラインをうたいあげるマントヴァーニはオーソドックスだが、心に深く残存する。



演劇

★夢みるように
ねむりたい

10月13日(金)・14日(土)19時
15日(日)14時 星電社・ラビリン
グホール南館8F

都会では、ねむりたくても、ねむられないという現実



代病が流行して
行っている。それ
は盗まれた夢を盗むように
なっている。それが
原因であるらしい。ルパン
三世がなんと、百歳の老婆
であった？という奇想天外
な発想を原点にその夢泥棒
を追う峰不二子。劇舎盛気
楼が、笑いとペーソスの中
に病んだ社会を浮き彫りに
する。

★出光美術館名品展

日本絵画・陶磁の美

10月10日(金)・11月5日(日)10
時17時姫路市立美術館(10月11
日と月曜日休館)一般900円、大高
生700円、小学生500円



出光美
術館は、
出光興産
創業者の
故・出光
佐三氏が
創立した世界的に知られる
東洋美術のコレクションの
宝庫。今回、重要文化財4
点を含む日本美術の名品70
点を展示する。

★安藤義茂刀展

9月2日(土)・10月22日(日)10
時17時(入場16時30分まで)月曜
日休館 伊丹市立美術館 一般2
000円 大高生1500円 小学生1
000円

水彩絵具等を使って重厚な絵肌を作り出す技法(刀画)を創出し、独自の画境を切り開いた安藤義茂。



彼の刀画
「若き母」の世界に描かれる女性たちは、仏像のようなポーズをとり、その顔は冥想に沈んでいる。

美術

精神的深みを求めて絵画研究をつづけた神秘の世界・全62点を展示。



映画

★ひと月の夏

10月中旬より「アサヒシネマ3」にて
ロードショー 一般1,600円
大高生1,300円



「モーリス」眺めがいい
ヨークシャーにて
「モーリス」部屋」など、古き

習の根づく社会で、自分を
欺かずに正直に生きていこ

うとする若者の青春像を描いたイギリス映画の数々。緻密な演出と映像美、役者の気品は観る者を魅了してやまない。前記の作品もそうだが、ここに又、フランスの期待に応えるイギリス映画の秀作が誕生した。戦争で心に傷を負った青年がヨークシャーの片田舎を訪れる。そこで過ごすひと月の夏の出来事。映像が醸し出すイメージによって精神を浄化するような映画である。

★ヴィオラ・ダ・ガンバ・リサイタル
13日(金) 19時 宝塚バグ・ホール 4,500円



音楽

★クラシック愛好会定期演奏会
1日(日) 9時 兵庫県民小劇場 5,000円

★東京クロイツ室内合奏団演奏会
5日(木) 13時 兵庫県民小劇場 3,000円

★モーツァルトは神戸第2夜「ジュピター」交響曲
6日(金) 19時 神戸文化ホール 3,000円

★八馬加代子リサイタル
7日(土) 19時 神戸国際交流会館メインホール 5,000円

★マランド楽団
11日(水) 18時30分 神戸国際会館大ホール S席6,000円
A席4,500円 B席3,500円

★ローラン・ドガレリュと仲間たち
12日(木) 19時 神戸外国クラブ 3,000円

★飛翔する音楽家たち
13日(金) 19時 神戸文化ホール 1,500円

★サマーストリー
10月中旬より三宮ロッポニカにてロードショー 一般1,600円
大高生1,300円



永遠の夏
に語りかけます。
愛について、人生について

誰を愛するようになってしまふのか。それは本人にさえ分からない謎。嵐のように突然、その感情はや



古典芸能

★もとまろ寄席恋雅亭
10日(水) 18時30分 元町風月堂ホール 1,200円

★伴・阿部舞踊研究所リサイタル
29日(日) 16時 神戸国際会館大ホール 2,500円



映画

★市民映画劇場「メイトワン」
12日(水)・13日(金) 18時30分
14日(土) 13時30分・16時15分・18時30分
分シリアルホール 1,000円

★第一回中田博之の世界
28日(土) 15時 神戸国際交流会館メインホール 5,000円



演劇

★劇団民藝公演「天使との二〇分」喜劇二題



美術

★大丸美術館
大丸洋画展 10/5・10/10
現代イタリア大理石彫刻・緒方良現展 10/12・10/17

ってきて、心の中を駆けめぐる。

イギリスの緑豊かな農村、海辺のリゾート、そしてロマンにみちた20年代のファッションを背景に繰る、このひと夏の恋の悲劇はノベル賞作家ゴールズワージーの小説「林檎の樹」の映画化だが、原作以上に、愛と人生を問いかける。

★このチケットを読者にプレゼント。希望者は葉書に氏名・住所・映画名を明記の上、神戸っ子「モダンカルチャー・映画係」まで。

ガレリー・ドーム逸品展

10/19・10/24

10/26・10/31

★そごう美術館

陶芸彩紅会展

10/26・10/31

坂口日出樹個展

10/4・10/9

黒井一英子展

10/10・10/16

フランス近代絵画展

10/18・10/23

松尾洋明油絵展

10/25・10/30

★海文堂ギャラリー

ピエール・ボン・絵画展

10/7・10/13

西村ようの不思議な世界

10/14・10/20

福島清個展

10/21・10/27

創作ジュエリー展

10/28・11/3

★近代美術館

画家たちの関西

10/7・11/26

★白鶴美術館

中国の美術

9/8・11/30

★ギャラリあじさい

平本美雄展 10/17・10/28

★姫路市立美術館

出光美術館名品展 10/10・11/5

★神戸市立美術館

松方コレクション展 9/14・11/26

淀川長治

映画評論家



奇蹟は起り得ることのわさづれしさ……

明石を照らす月をあおぎて……。

もう新聞でも紹介されているかと思うのだが八〇分のドキュメンタリーで「宇宙へのフロンティア」FOR・ALL・MANKIND（一九八八年・アメリカ）というのが九月末から東京で公開される。そしてこれを見た私は「月」の上を私自身がフンワリコンフンワリコンと泳ぐかのように歩いたさつかに落ちた。このドキュメンタリーは、今年のフィルムフェスティバルの八九年度ドキュメンタリー部門でグランプリを受けている。思えば活動写真が発明されてまもなく頃、早くも「月世界旅行」なる空想トリック活動写真が作られてから、こんにち、ついにホントウにその実写が映画によって公開の日が訪れたのであった。ロケット発射から月の上を彼らアポロ宇宙飛行士たちが月の砂の上をフンワリコンと浮くがごとく歩くそのシヨッキングこそ幾百の劇映画の迫力も及ばぬカンゲキ。これを感激の二文字でおさめ得ずカンゲキなるカナヅチ文字で記したるもこの月の上を歩く人間を信じてよきやといまだにうたぐるゆえんと思われてもよろしく、満月わが家の庭にその光そそぎなほ今もって全裸でその月影したい庭じゅうを走り廻るわが身にとっては、その月を土足（どそく）をもって踏みにちることの人間の無情。われあの月を地上よりはるかあおげば満月は銀の盆、三日月は銀の船、その美しさ見つめれば身もだえせんばかりのこれぞ美の極致。この月に

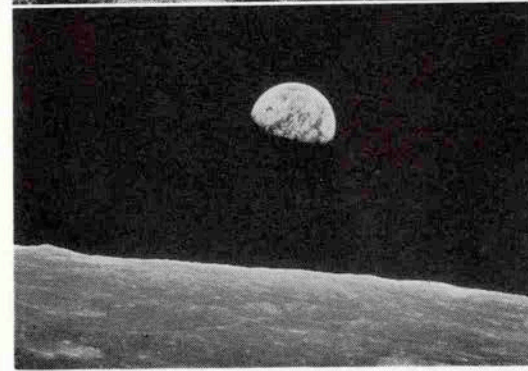
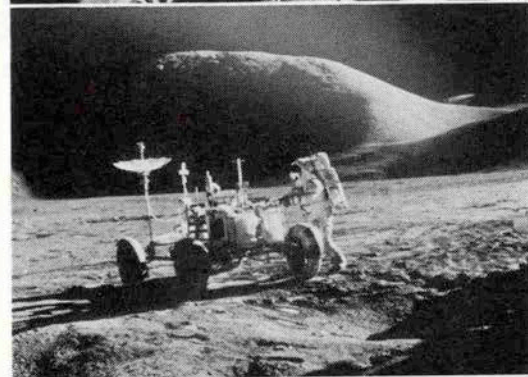
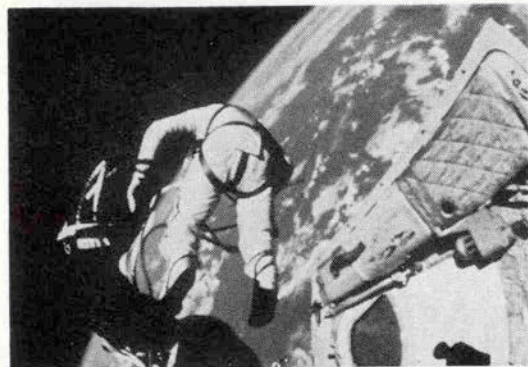
向って人間の月面着陸。これが今を去る二〇年まえのじつさい。これぞコロンブスの大陸発見以上。そのさまをイロハのイからこまごまと、我れ自身そのロケットにあるがままの実感をもち、フィルムにおさめたる、この奇蹟とも思えるドキュメンタリー。その感激、その感涙は、もはやカンゲキ、カンルイなる文字をもちいて示すがよろしく、感激感涙ではあまりにも地上われらの身におさまりすぎる。とにかくこの「宇宙へのフロンティア」なる映画、いまより五〇年、いまより八〇年、いまより九〇年と、年立つほどに貴重となるは言うまでもなく、明治二十九年（一八九六）そのころに空想したるトリック活動大写真「月世界旅行」、これが……ああ今や、ほんとうになったというこのこわさ。しかもそれを実写として撮影したるその時が来たのでありました。

さて、話は変り、さる七月二十九日、私におきましては、懐しや明石なるところにての講演。兵庫生その西柳原育ちの私にとりましては明石はまさに身うち。ところがこれが実は真実のみうち。これなるはあとにて申さねばならぬであります。さてその出発前夜、豪雨をもちまして静岡熱海間JRストップ。東京駅に気の早い私は乗るべきグリーン車その発車時刻を恥つかしや一時間も早くその前すでにホームに立ったがゆえにこそ、

ままよとばかりに私の乗るべきシンカンセンのひとつつたつみつつよついつつまえ、その列車、いまだ目前にあるを見て、ままよとばかりにそれにもぐりこんだことが幸いして、ようやく明石のホテル・キャッスル、その定められた講演時刻の十分おくれに駆けつけたというスリル。これはアポロ月面着陸とはどだいケタが違うとはいえ私にとりましてはそのショックはひとしく、ホッとひといき。かくてその日の講演、熱はいり力こもり二時間余、しかも立ったまま、水一滴とて口にそそがぬ我ながら熱演。しかしこれには実は深いわけありてハイ明石こそ実にわが父のふるさと。母が好き父が嫌いの私にとりましては、その父のふるさとに何のうれしゅうちやくもなくこの七〇年あまり足踏み入れたこととてなし。しかるに思えばわが父（長男）の弟そのひと明石の駅弁の料理もと。またその下の父の弟は、明石の料亭の近安の主人。思えばこの近安から船を出し夏の夕刻、明石の夕なぎも静かなる沖合いで、家族一同その船のなかでの夕食の美しくおいしかったこと。この父のふるさと明石。その父の家の姓はクスノキ。思わず知らず私は映画講演中にかくなるイワクインネンの我が父と明石なる

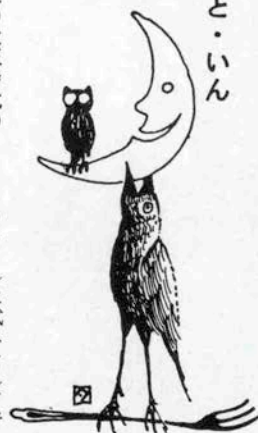
インネン、思わず語りしも、九十一歳で戦時中に死せる父、あの世より私を呼び招き「ナガハル、イッペン、アカシデコウエンセイヨ」と命じたるやも知れぬこの私の熱の入れかた。

かくて講演すましホッとひといきのところ係りの人、なにやら一通の手紙。なにかと封切らばアレヨアレヨとばかりのおどろきびっくり。その手紙のぬしなる人こそは明石の楠茂太郎。しかもその手紙のなかみ、かの近安料亭のお孫さまらしく。となるとわが父の弟のお孫さん。こうなれば何故に講演に耳かたむけてくれなんだと読むうちに実はこのごじん神戸の北長狭通のアイガラスピル一階にその名も「近安」なる店名かかげての御店はんじよう。ちょうど講演始まりしころは仕入れの鮮魚かかえて北長狭へ直行せざるならぬ時刻とか。かくて手紙を置かれて北長狭へ走られたことわかり、このたびのわが明石の講演、これぞアポロの月面着陸にも似たるショック。かくて人の世、いろいろなる大ショック、中ショック、小ショックありて今回は世界の大ショックと、私ごとのチックイチックイ・小ショックのふたつばなし。失礼さんでした。



①今や月面着陸 ②月の上をフンワリフンワリ
③月よりはるか地球を望む

びっと・いん

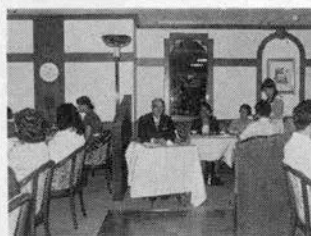


◆魯山人の大正時代のメニューを再現

8月26日、OPAの「美食倶楽部」で日本料理研究家の松浦沖太先生を迎えて食談会が催された。

食事は和食のコースで、大正時代の魯山人（美食倶楽部創設者）のメニューを料理長が現代風にアレンジしたもので、その一番弟子だった松浦先生は「へべれけになっても微妙な味の違いが分った」と魯山人の味に対する厳しさを語った。器ひとつをとっても、長年培われたこだわりを持っている魯山人らしい話。

美食倶楽部では、「今後



松浦先生（中央）を囲んで

もこうした試みをして行きたい」とのこと。

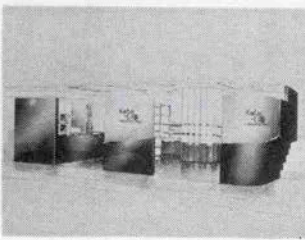
神戸市中央区北野町一丁目OPA 3F 電話261-28800 AM11:00~PM10:00

◆お弁当、惣菜の店

さんちかにオープン

8月28日、さんちかにお弁当、おむすび、惣菜などのお店「Kobe-Li 庵」がオープンした。

ラインナップは、評判のお弁当にミニ丼、変わりおむすび、和洋惣菜、ヘルシーなサラダとフランス料理店



こんなに明るいお店です

「トゥール・ドール」オ리지ナルのデザート。種類も多く、ユニークなアイディアに富んだものばかりで、つい手を延ばしたくなる。

中には温められるものもあり、「まだ開店したばかりなので、とにかくたくさんの人に来て貰いたい」とのこと。

神戸市中央区三宮町さんちか内 AM10:00~PM8:00 電話321-1682

♥お店の雰囲気づくりはあなたにお任せ

グループサウンド全盛の頃、ギタリストとして活躍した山崎茂樹さんの店・パブリックバー「CASH」が8月24日、オープンした。

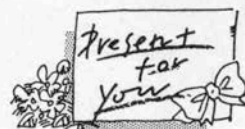
木をふんだんに使った造りの店で、雰囲気は「お客様が創り出してくれれば」



マスターも気さくに笑顔で対応

と、自由なところがウケている。世界のビールとカクテルは百種類近く揃っていて、何よりも安いのが魅力。待ち合わせに、喫茶店代りにも利用出来そう。また、お客さんのリクエストに応えてビデオも流してくれる。

神戸市中央区北長狭通2F 5P1 AM3 電話321-2838 無休



の20セント”から1周年を記念して、それぞれペアで5組ずつ無料チケットをプレゼント。“2001年”はレ



最後の20セント

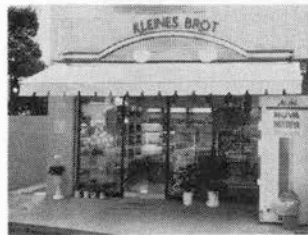
ーザ・カラオケ。最後の20セント”はオールディーズライヴが楽しめる。いずれもお客さんの年齢層は高めだそうで、ジャケッ、ネクタイ着用で来店下さい、とのこと。

最愛のご主人や奥さんと、あるいは恋人同士で、賑やかなひと夜を楽しんで下さい。

神戸市中央区北長狭通2F 5P1 AM3 電話321-2838 無休

●本物のパンを作る店
六甲にオープン

阪急六甲駅から南すぐのところにニューオープンした「クライネス・ブローット」は、本物のパンを作る店。パンの本場・フランスから買入れた金で焼くサワー種



本物を探すならこのお店

を使ったミッシュシュブローットなどフランス・ドイツパンの味は、毎日買いに訪れるドイツ人の舌で証明済み。採算を度外視した本格高級志向の店。会員制で、予約すれば、会員にしか販売されないパンもある。この店を起点にパンの本物志向を広めたいとのこと。

◆JAZZを聴きながら
本場の広東料理を
8月10日芦屋にオープンした「レフト・アローン」は、本場の広東料理とJAZZの店。海外からやって来るプロもいて、味も音も

■神戸市東区八幡町2-6-13
AM7:30~PM8:00 火曜休
☎841-3103

ライスは同じだが、照明・緑・インテリアなど、細部に手を入れ、微妙に雰囲気を変えた。と同時にハンター坂倶楽部と改名、「よいモノ」を求めて、変わっていく姿勢は大胆ながら、

●K O B E
グルメスポット
レストラン・
ソサイティ
ハンター坂
倶楽部

中央区山本通2丁目4-24 (ハンター坂リンスゲート2F)
☎078-242-7294
11:30~14:00 (ランチタイム)
16:00~17:00 (デザートタイム)
17:00~21:00 (ディナータイム)
/オーダーストップ 水曜定休
/オーダーストップ



ソフト・ムードをたっぷりと...

絶対の自信を持っているそうだ。製材所に並んでいるそのままの材木をふんだんにあしらった店内は、あたかも異空間に迷い込んでしまったかのような印象を受ける。また、時折、音楽プロデュースも手掛けていて、近くは11月4日に大阪中央



今にも崩れそうなユニークな空間

頼もしい。

吟味された食材にこだわったヌーベルキュイジーヌはますます磨きがかかり、シェフお奨めの「四季の鑑賞メニュー」(8千円)も登場。オリジナルハープティールや爽やかなデザートも好評だ。席数、食材に限りがありま

すので必ず、ご予約を。

■ハンター坂倶楽部から「ディナータイム」をベア3組様にプレゼント。くつろいだ北野の散策の途中に、立ち寄る素敵な「ディナー・プレイス」ぜひ、ご応募下さい。

希望者は住所・氏名・年令・TEL番号を記入し、〒650神戸市中央区東町13の1大神ビル9F月刊神戸子「ひっといん」・ハンター坂倶楽部」係まで。

公会堂で、世にも珍しいラテン・ロックのコンサートが行われる。

■芦屋市東山町4-13
PM4:30~AM1:00 月曜休
☎0797-22-0171

◆万年脇役のニンニクを
主役の座に
全メニユーにニンニクを



イスタンブール調の内装が素敵

使ったユニークな店」にんにく屋」が9月21日オープンした。今まで脇役に甘んじていたニンニクを主役の座に引き上げたニンニク料理は、「D・サカイズガリー」を使って、翌日に匂いが残らないのが大きな特徴。厳選されたワインが低価格で楽しめるのも嬉しい。イスタンブールの模した内装も凝っている。

今回は特別に、ディッシュ&ビールチケットを読者にプレゼント。ご希望の方は、小誌にんにく係まで。

■神戸市中央区北長狭通1-8-7
PM5:00~PM11:30
☎321-3605

ポケット ジャーナル



★線と色彩のソナタ

「小磯良平の世界」開催
北野町のギャラリー・ホワイトハウスで、開館一周年を記念して「小磯良平の世界」が開催されている。

同展では、今年6月に小磯画伯のご遺族より神戸市へ寄贈された作品、2千点から選り出された42点が紹介されており、これまで未公開だった作品も数多く含まれている。

1926年作の自画像や初期のめずらしい南仏カーニュ風景、二人の少女（姉妹）など清楚感溢れる落ち着いた画格は、60年に及ぶ小磯画伯の画業の深さを物語る。



▶マントの外国婦人（1980年）

来年2月には、神戸市立博物館で受贈記念展も予定されている。同展は11月8日まで開催される。

★写楽の正体を探る

浮世絵研究の第一人者中右瑛氏のコレクションが8



▶写楽「嵐電蔵の金貨名部金吉」

月23日～9月24日まで姫路市立美術館で「写楽と浮世絵師ビッグ3」として開催された。

今回のコレクションで注目すべきは実在記録わずか

10カ月、謎の天才絵師として、今もファンを魅きつけてやまない、東洲斎写楽の作品が数多く揃ったこと。

世界に残存するのは2組という作品「大童山土俵入」、また彼こそは写楽ではない

か？と論ぜられている、鳥井清政・歌川豊国ら10人の作品、江戸文化を代表する歌麿・北斎・広重の名作等見応え充分の名品展となった。

★若林和男展記念 レセプション

ギャラリーさんちかで、9月21日から開催されている個展が大好評の若林和男さん。28年前にブラジルへ渡ってから、3度目の日本での作品展。

今や国際作家として、欧米でも著名な若林さんのサンパウロからのメッセージと題する記念レセプションが、交通センタービル9F「港蘭館」で催された。



若林さんを囲んで

出席者は姫路市立美術館副館長伊藤誠さん、元町画廊佐藤謙さん、画家の西村功さん、神戸大学教授嶋田勝次さんら多数が詰めかけて、若林さんの久々の帰国を歓迎した。

誕生日ありがとう運動



古切手の活用

私は初め古切手なんか集めてどうするのだらうって思っていました。誕生日ありがとう運動の活動をはじめても、どんなふうに古切手が役に立つのかわかりませんでしたが、先日ポランティア・フェスタのバザーで古切手がシートになって売られているのを知りました。しかし私はいくらきいいなシートにいられても所詮は古切手なのだから売れるのかなあと不安に思っていました。

ところが売始めると、子どもからお年寄りまでいろいろの人が買いにこられました。その中で一人で一万円くらい買われたおじさんが印象に残っています。

それから未使用の切手だと思われて買いに來られた人、また古切手を集めているのだけれども、どこに持って行けばよいかわからないという質問をされる方、などがみられました。

私もポランティア・フェスタの中で、誕生日ありがとう運動の古切手や本などを売らせていただいた経験を生かして、誕生日ありがとう運動をできるだけ多くの人に知ってもらい参加していただくために頑張っていきたいと思っています。

——○○○○——

以上はT市のNさんからの便りです。古切手の収集送付へのご協力と同時に、手軽なお土産としてシートをご利用ください。

誕生日ありがとう運動本部
651神戸市中央区御幸通八—一六
神戸国際会館一階郵便局の前

☎〇七八—三—二二一四

★毎日新聞神戸支局
新拠点完成
毎日新聞神戸ビルが、栄



各界の代表がお祝いに

町通四一三五に完成。その完成披露パーティーが、9月6日正午よりホテルオークラ神戸で行われた。

貝原兵庫県知事、宮崎神戸市長、石野神戸商工会議所会頭をはじめ、作家の陳舜臣さん、将棋名人の谷川浩司さん、書道家の望月美佐さんなど多方面から約500人の人々がお祝いに加わった。

同ビルは鉄筋コンクリート地下一階、地上八階一部九階建て。三階には毎日新聞ホール、他に日本野球連盟兵庫支部、毎日事業社などが入居。一階、六、八階はテナントが入居する。

最新技術を駆使したインテリジェントビルではあるが、古き良き神戸の面影を残す、一階正面玄関とそれに続く外壁は、旧館をそのまま残し、周囲の景観を壊さない配慮がなされている

★楽しくスウィング

昨年の本誌12月号で紹介した信原病院院長の信原さんを中心に、病院職員、友達など総勢9名の大的ジャズ好きが集まって結成されたキング・クレゾール・ジャズバンドが、このたびCD（キングクレゾールジャズバンド・フラット・フー）を制作した。このCD



メンバー一同

はウエストコーストスタイルの楽しい曲ばかりを集めた、子供から大人まで楽しめるものでファンの人達に喜ばれている。

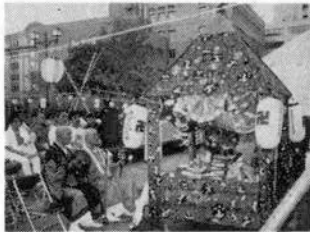
キング・クレゾール・ジャズバンドは、6月の全日本デイキシーランドジャズフェスティバルに出演後、今度は10月の神戸ジャズストリートが控えているなど素人ながら大忙し。これからも楽しい演奏を聞かせてくれそうだ。

興味のある方は信原病院まで
079161610981

★メリケン地蔵 地蔵盆に

ベインティングアート
八月二十日の日曜日。ひと足早い地蔵盆が、メリケン地蔵で神戸港を考える会（角本稔代表）の主催で開かれ、今年は高速道路の排気ガスですすけて黒ずんだ司に、アーチスト（小西慎一郎さん）によるベインティングがほどこされた。

三年目を迎えるメリケン地蔵盆は、この界限が年々美しくなり御霊験はあらたかだが、おさい銭箱がよく盗まれる。会では何度もやり直そうと気長が。当夜は、他に大竜寺の井上仁性住職の説話あり、京都の染の福井さんによるカラフルな幕も出来上って飾りつけられた。チビツ子サンパ



美しくなったメリケン地蔵

や、チリのダゴベルトさんの二世の唄、盆踊りなど国際的な催し終って、精霊流しで風情ある催しだった。
★知的に、美的にー第2回ウーマンズフォーラム開催
昨年作家の椎名桜子さん

図書
ガイド



とんぼがえり
で日がくれて
灰谷健次郎

これは作者が昭和51年から62年の間に、それぞれ単独の作品として出版したものを1冊にまとめた児童書である。どれも皆、明石海峡を望む淡路島を舞台にしていて、作者の、主人公である子供たちに向けての温かい視線が眼に映るようで微笑ましい。殊に、子供たちと保育園の先生との交流を描いた「ともだちがいっぱい」は秀逸である。（新潮社刊 360円）



廣瀬眞州
阪本 亮一

今までビジネス畑を歩いて来た作者が初めて書いた小説。その豊富な知識と経験を生かし、50年以降21世紀に至るまでの日本の経済状況を分かり易く解説しながら予見している。
あくまで小説として楽しめるばかりか、現代人に対して喝らす「経済破綻」という名の警鐘は、揺るぎない説得力を以て迫ってくる。（角JDC刊 1300円）



明石さかなの
海峡
神戸新聞
明石総局編

明石海峡大橋の架橋によってその漁場としての財産が脅かされていくと、神戸新聞明石総局の方城正三記者が、漁業者、水産研究者を訪ね歩き、昨年一年間かけて神戸新聞明石版に連載したルポをまとめたのが、この本。明石海峡の伝説等も交えて綴られた興味深い本である。（神戸新聞総合出版センター刊 1100円）

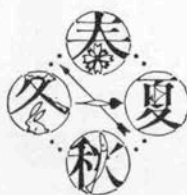
を迎えて、好評を博した「ウーマンズフォーラム」(株オリエントコーポレーション主催)が今年も11月5日(日)、4時30分よりホテルオークラ神戸・平安の間で開催される。



三枝成彰氏

「知的コンシヤスーBE インテリジェンス」をテーマにした今回は、作曲家の三枝成彰氏を迎えてのトークショーを中心に、お洒落

花時計



美術展のもつ意味

「松方コレクション」の展覧会が、神戸博物館で開催された。しかも、神戸市制一〇〇周年を記念して催されたものである。この記念展にあたって、アメリカからライシヤワーさんご夫妻がわざ

なパーティータイムが繰り広げられる。海外旅行が当たるチャンスもある豪華な3時間、貴女も新しい女性の生き方、見つめてみませんか。

■この催しに2組4名様をご招待します。住所・氏名を明記し「神戸つ子ウーマンズフォーラム係」まで。

★生田森「観月祭」開く
月やどる 生田の池の芦の葉に つゆふきかめる
秋のかげかな——康光

今年も恒例の生田森観月祭が、九月十四日(木)午後六時より生田神社拝殿(加藤隆久宮司)で開催された。

修祓、献饌、献華、献茶
につづいて、舞楽「八仙」

わざ、オーブニングのテーマカットと挨拶に来られるというので話題になった。ハル夫人は松方幸次郎さんの姪に当られるということであった。

その「松方コレクション」は実に素晴らしいものであった。世界の第一流の美術の展覧は、観る者に大きな感動と衝撃を与えた。「このような展覧会は二度と見られないかも知れないね」というようなささやきも聞かれた。例えばバリのポンピドー芸術センターで大き

という崑崙八仙の略称で鶴舞と呼ばれる童舞が、片岡淑子、近藤秀子、西田佳代、丸岡葉子さんらによって愛らしくリズムカルに舞われた。午後七時十五分からの観月の宴は、秋を彩る松花堂に、月見だんごなどを味わいながら、キングレコードの田代めぐみさんが振袖姿で、本格派演歌歌手らしく「おんな夢しぐれ」などを聞くという趣好。約400名が参加するという盛会ぶりだった。

生田神社会館は、WFFの味のフロムナードに参加 11月25日6時より奥村彪生氏を迎え「神々の食事」をプログラム、15、000円(要391・8765)

な展覧会が開催される場合、時の大統領が出席して、オーブニングのテーマカットを行うという。つまり、大きな国際的な美術の企画展は、ただ単なる一介のイベントではないのである。それを催すのは国の誇りであり、観賞者は市民は、勿論のこと、周辺の地域を挙げて、さらに国境を越えて、美の饗宴を共楽するのである。だから、ハル夫人が海を越えてわざわざ記念展にお越しになられたのであらう。△Y△

● KOBE POST

★第十三回井植文化賞表彰式が、井植記念会(理事長・井植貞雄)創立二十周年を迎え、今回はオリエンタルホテル梅の間で、十月十七日(火)午後四時五十分五分迄開かれ、記念パーティーが午後六時八時迄開催されます。受賞者は、文化芸術部門/今竹七郎(グラフィックデザイナー・洋画家) 科学技術部門/田中千賀子(神戸大学医学部教授・医学博士) 社会福祉部門/兵庫ボランティア協会(代表・黒田義子) 地域活動部門/ブナを植える会(代表者・片山英一) 報道出版部門/浜田義雄(ラジオ関西記者) 浜田節夫(神戸新聞社社長室長) 国際交流部門/神戸YMCAクロスカルチュラルセンター/留学生ホストファミリープログラム・住野和子(事務局長)

★石阪春生画伯の小品展が、ポートピアホテルの三越ギャラリーで11月13日まで開かれます。

★本誌連載漫画でおなじみの岡田淳さんが、この秋「ボアンアンのにおい」作・絵/岡田淳を偕成社より、「はくが」立たされたわけ」作・岡田淳/絵・宮本忠夫で、佼成出版より発売されます。乞御期待。

★デザイナーの挽地正雄・佐藤邦雄さんが、オフィス移転。新住所大阪府中央区釣鐘町2丁目3番17号ベルハウス(電話06-943)0191(代)FAX06(943)0673

★ソプラノ歌手の古元真夕美さんが、第25回日伊音楽コンクールで見事優勝。受賞を祝う会が十月七日(土)午後六時より、オリエンタルホテルで開催されます。会費一万円。

★本誌小泉美喜子が、編集家の西隣江戸町ビルへ引越ししました。〒550神戸市中央区江戸町98番一江戸町ビル602号 電話078(22)3668

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子倶楽部新会員 継続会員ご案内

■神戸っ子倶楽部では、ただ今会員を募集しています。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。また、神戸っ子倶楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様々な情報を提供します。さらに年2回、文化性の高いイベント（コンサート、美術展、演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。年会費（入会金を含む）は1万円です。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確めのうえ、継続会員として年会費をお納めください。

□入会申込・お問合せは——

〒650 神戸市中央区東町113ノ1 大神ビル9F
 テレホンサービス（24時間）
 TEL・078-802-3531
 サービス No. 48. BOX No. 00012

★ Kobecco club 会員情報



上海交響楽団（上）
 テナー 羅清水氏（下）



■上海交響楽団来日!!

10月25日（水）19:00開演
 於 神戸文化大ホール
 S ¥5,000、A ¥4,000、B ¥3,000
 →各1割引特別御優待

現在、中国において中央交響楽団と双壁をなす国際色豊かな上海交響楽団が来日します。テナーに神戸で活躍中の羅清水氏を迎え、秋にふさわしく「荒城の月」、チャイコフスキー「交響曲第4番」等を演奏します。芸術の秋、クラシカルな夕べはいかがですか？

□チケット御希望の方は、☎078(331) 2246 月刊神戸っ子まで10/19までにお申込みください。

芸術の秋到来。二大コレクション御招待!!



ブラッキングイン「松方幸次郎の肖像」

■松方コレクション展

明治の神戸経済界の巨人・松方幸次郎が壮大なロマンと巨費をもって収集した「松方コレクション」が、11月26日まで神戸市立博物館で開催中。世界三大美術コレクションといわれる豪華絢爛たるこの「松方コレクション展」に会員の方に限り無料御招待。但し数に限りがありますので申込みはお早めに。



マントの外国婦人

■小磯 良平の世界

清澄な画格と親しみ深い画面で神戸っ子に愛され続けている巨匠小磯良平の未公開作品を中心に11月8日まで、ギャラリーは White House で展示。先着50名様を御招待します。

□チケット御希望の方は、ハガキに住所・氏名・TEL・希望枚数を明記の上〒650 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F 月刊神戸っ子 ☎331-2246 まで



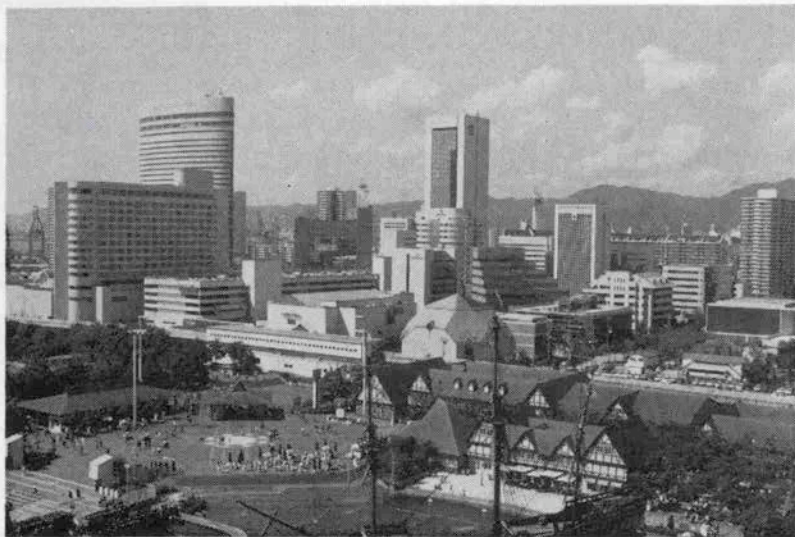
第4回

神戸
ファッ
ション
タウン

有井 基

—Hazime Arit—

△フリーライター▽



ファッション都市宣言から16年、感性都市空間、「神戸ファッションタウン」がこの秋いよいよ完成する。

まるで、細身のピラミッドを原型にしたような、建築群が天を衝いている。それぞれの建物は、色彩も意匠も、すてきにおしゃれなのに。それが大小のスペースシャトルを、カッコよく並べたかに錯覚させるのは、上方の空間をたつぷりとるために、建物に傾斜をつけたせいらしい。

ここ、神戸ファッションタウンが、十一月十七日から三日間、街びらきイベント「フロートーション'89」を繰りひろげる。カッコよくいうなら、国際社会に向けてのデビュー宣言でもある。

しかし、意欲的なPRで「神戸ファッションタウン」の名前は知っている人でも、どこにあるのか知らない人は、意外に多い。それは、たぶん「ファッションタウン」という語感から受けとるイメージに、東京の南青山界隈や大阪ミナミの「ヨーロッパ村」が、くっついているせいだろう。

そういった感覚で見れば、現状は、おとなし過ぎて、わかりにくい、というべきか。

大ざっぱにいえば、人工島ポートアイランドの「ポートピア'81」会場跡地にできた十三・五軒の街区である。ポートライナーの最寄駅でいうなら「中埠頭」の西、「南公園」の北、「市民広場」の東と西、となろうが、ここへ進出したのは三十八社。衣・食・住・遊といった

生活文化の考え方で仕分けをすると、アパレル（衣服）企業十八社が群を抜いている。

しかし、神戸風月堂、ユーハイム、コスモポリタン製菓、モロゾフといった和洋菓子四社、田崎真珠、大月真珠、ヒラコの宝飾三社、ヌートリメティックスインターナショナル、ノエビア、上島珈琲、ニッポンインテリアチエーンなど化粧品・食品・インテリア各二社、とあがていくと、トータル・ファッションを生活文化（創造への豊かな感性）に高めたい、とする強固な意思が浮き立つ。



ファッションタウン内にあるオフィスに勤める藤原さん、竹井さん、瓶井さん。（写真左から）毎日通っているだけあって、筆者をウーンと顔させるような厳しい意見もとび出した。

当然、仕掛け人がいた。その仕掛けには、未来を見据えた説得力があった。でなければ、「本土」と呼ばれる既成市街地からはポートアイランド大橋一本の陸送路、ポートライナーだけの輸送機関でつながっている人工島へ、誰が、ばく大な投資をするものか。

云い出しへは、川上勉さん（オールスタイル会長）である。一九七二年（昭和四十七年）、アパレル業界の大同団結をねらって設立された神戸ファッションアソシエーション（KFA）の初代会長に就任、「神戸をファッション都市に」と構想をブチ上げた。

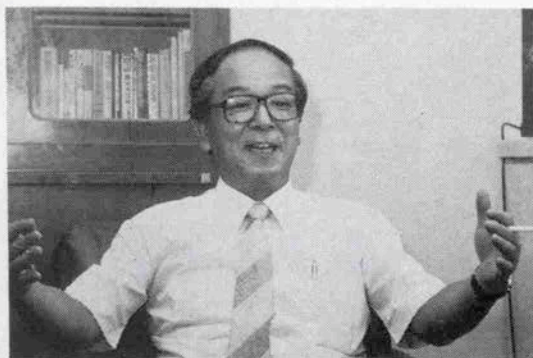
「これからは自由貿易の波が来る。世界的な都市間競争で生き抜くには個性のある街にならなければならない。京都や奈良が戦争で廃墟にならなかったのは文化遺産があったからだ。いわば文化遺産が街を救った。神戸の未来は、文化を創造し蓄積する街、個性の高い文化が花ひらく人間のための街にする以外に、あり得ない」

およそ、こんなふうに切り出したという。

今でこそ年商五千億円に急成長をとげた神戸のアパレル業界も、当時はKFA会員三十五社合わせて年商三百五十億円。鉄鋼、造船、海運などに比べると「弱小業界」といえた。しかも、川上さんにしろ現KFA理事長の木口衛さん（ワールド会長）にしても四十代の若さで



アフターファイブを楽しめるような街にできるかがキーポイントになる。



微妙な調整に一番気をつかいます、と言う田中勇二郎専務理事

ある。もう数年、提言が早ければ、構想は実っていたかどうか。

だが、宮崎辰雄市長ら行政側、商工会議所を中心とする経済界は、真剣に耳を傾けた。鉄鋼、造船、海運に不況のかげりが見え、産業構造の転換を模索していた時だけに、いかにも神戸らしいフアッション産業に引き寄せられた、というべきだろう。

誕生までの経過は、はぶく。一九七三年秋のオイルショック、一九八一年のポートピアⅧなど、不安と希望に揺れながら、さらに地に立体感あふれる街ができた。KFFAの提唱から十六年目の秋である。

タウンづくりの主軸となったのは、鬼塚喜八郎さん（アシックス社長）を会長とする神戸フアッションタウン協議会（KFFT）、つまり進出企業を正会員とする団体だった。KFFT専務理事・田中勇二郎さんは、商工会議所会館の一室で、街びらきイベントの指揮をとりながら

「三十八社のうち本社が二十一社、支店が十七社。大枠では共通の理解をいただいています、企業個々の事

情や思惑の微妙な調整に、いちばん気を使いますね」という。変化に富んだ各ビルの一階は原則として開放が義務づけられ、そこには喫茶店、レストラン、ブティック、ギャラリ、多目的ホールとして活用されている。しかし、ポートアイランドの既存の業者への気兼ねもあって神戸市が規制しているため、レストランも名目は「社員食堂」だそう。こんなことで、はたして、人が集うのか。

また、個々のビルは公道から三層以上、後退させて半公共空間を提供し、季節の花でプロムナードをつくっている。川上さんが「街の中の公園ではなく、公園の中の街に」というゆったりした空間の魅力は、他にない特徴だろう。しかし、各企業の呼吸がそろわないことには、いわゆる「界隈性」のある楽しい街になり難い。

若い人たちの意見を聞いても、竹井由佳さん（シヤルレ勤務）は「企業の特徴を生かしたショッピング・ストアが少なく、今のままでは情報交換がない。それに駐車場が少ないから路上駐車のために、せつかくの空間がこ



モードピアの庭園を後ろに、
*人が集い、見るごと、見られることを楽しむ街にしたい*と語る川上会長。

そうやってこそ「母なる街」神戸の市街地活性化にも貢献できるのだ、という。

課題は山ほどある。「たった今、呱呱の声をあげたばかりですよ。これから新しい挑戦が始まるんです」川上さんの熱っぽい口調に「街誕生」という語句を強く思い浮かべた。いささかのバラ色に彩られた未来像が、さて、どう結実するか。

わされています」。

藤原奈美子さん（ジャヴァグループ）は、「ファッショントウン」といっても、知らない人が多いんです。遊びに来て、もう一度行きたい、というお店が、まだありません。ファッション性だけを優先するより、面白くて楽しい街になってほしいですね」。

また、瓶井彩子さん（ノエビア）は「アフター・ファイブが楽しめる街にしてほしい。今のままでは勤務で夜おそくなると痴漢など治安もよくないし、交通手段も不便だし、三宮と、ずいぶん遠い感じですから」。

要約すれば、こうなる。しかし、KFTのメンバーにとっては、初めて耳にする苦言ではない。もともと、総合デザイナー浜野宏さんが基本構想を示した計画には、商業とオフィスとホテルと住宅が、うまく混ざり合った人間くさい街が描かれていた。それが頭の固い国の規制などによって、今日の姿を選ぶほかだった事情もある。ポर्टアイランドは、人工島なのに周辺が港湾施設のため、ウォーターフロント（水辺）がない。せめて海側の

ビルの一階が海まで突き抜けていれればと思いが、ふたをされては、どうにもならない。そうした悪条件を、どう克服して

ファッションビジネスの拠点づくり
人間中心の魅力ある街づくり

二つのテーマを現実のものとするか。KFT内に組織された活性化委員会の委員長に引っぱり出された川上さんは

「美しい街だけと冷たい街や、という印象を持たれるとしたら、つくり変える必要がある。どんな美女でも、無視されると衰えますから。土・日曜にシャッターを下ろす、なんてことは、街に対する礼儀をそこなうことです。世界に向けて美を発信し、平和と自由と愛を追い求める「志す人の街」にしないと、タウンづくりの意味はありませんよ。だから欧米の企業との提携も進めます。国内の多様なビジネスと人材を集めます。そのためには、まず、人が集い、見るごと見られることを楽しむ街にしませんとね」